

# 初年次教育「農業生産基礎セミナー」におけるアクティブラーニング効果の検証

島根大学生物資源科学部 小林和広 (kobayasi@life.shimane-u.ac.jp)



キーワード：初年次教育, 協調学習, 反転授業, 他者観(情報共有)

## 初年次教育「農業生産基礎セミナー」で教えている内容の一部

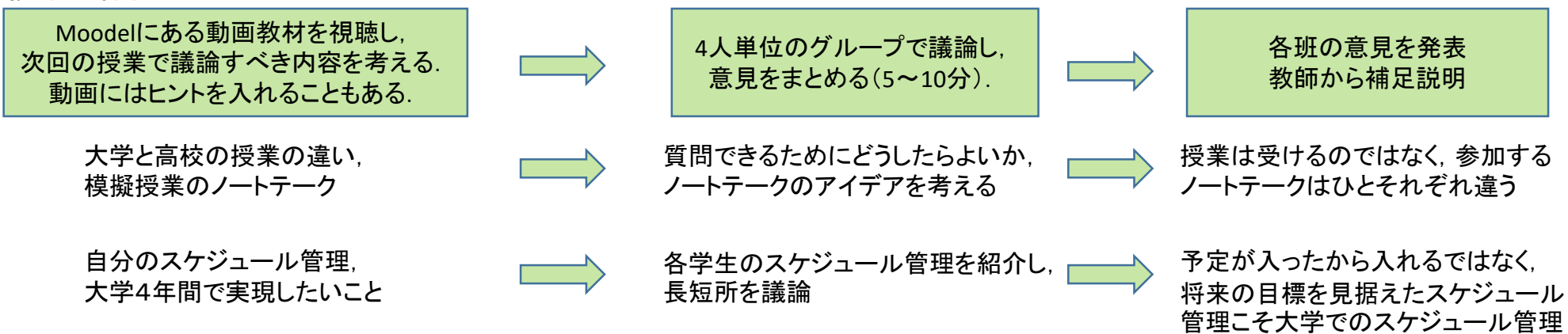
1. 授業に参加するにはどうすればよいか？(ノートを取り方を含む)
2. 活動日誌を含めたスケジュール管理の方法
3. 屋上緑化での野菜栽培を通して、グループ活動、観察記録、報告、ポスターによるプレゼンテーションと質疑応答

このような活動のやり方にはそれぞれのやり方があり、自分に適した方法を自分で見つける必要がある。そのためには他人のやり方を参考にしながら、自分で考える必要がある。そのような機会を授業で準備した。しかし、授業でいきなり考えろといっても考えられるものではない。

## 協調学習と反転授業を組み合わせたアクティブラーニングのねらい

1. 協調学習によって、学生同士で考えることによって、個性を認識した上で、自分に適した方法を考える
  2. 反転授業によって、議論すべき内容を授業前にじっくり考えておかせすることで、授業中の議論を深いレベルにする
- 学生に対するメリットではないが、授業前の学生の予習によって、協調学習を実施するときの教員の負担が減らせるのではないかと考える

## 授業の枠組み



## 屋上緑化での野菜栽培活動



班別に屋上緑化で  
野菜栽培



観察



Moodleに観察記録  
を投稿(毎週)

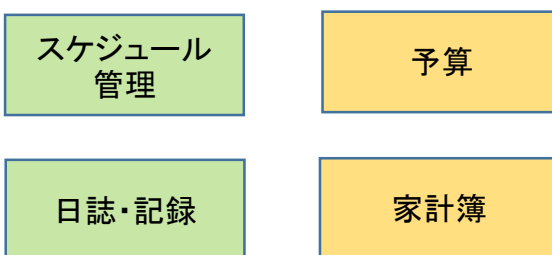


ポスター発表に  
よる意見交換

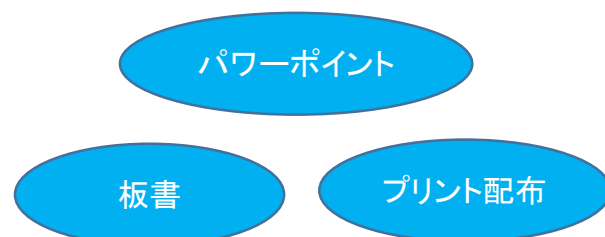
野菜栽培を通じた活動で農業高校、普通科など出身、背景の異なる学生間での情報や意見の共有・交換が大学の学びに有効であるということに気づいたのかも？

## ノートテーク, スケジュール管理

高校までのやり方を学生間で共有



模擬授業によるノートテーク



自分のやり方を予習でまとめた上で、学生間でそれぞれのスケジュール管理やノートテークを議論したことで「2. 自分がすでに知っていることと結びつけて、授業内容の意味を理解しようとする」、「3. 私は、授業内容の意味を自分で理解しようとする」のポイントが高くなったのかもしれない。

## 毎回行うグループワーク

予習で考えてきたことも利用して、話し合う



協力することの意味を考える。  
大きなかぶというロシア民話では、小さなネズミの力が加わることでかぶが抜ける

小さな力にはどんな意味があるのか？  
1. 小さな力も合わされば大きい  
2. ネズミに特技がある

学生からさらに「黙って通り過ぎるより、一生懸命助けてくれると励ましになるのでは？」

新しい見方も出てきて、話し合いが新鮮に感じられたのかもかもしれない。

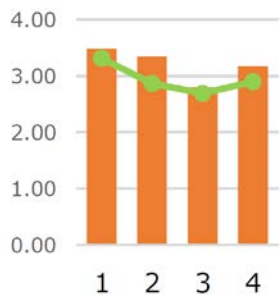
## 今後の課題

アンケートの結果だけから見ると、授業に効果がありそうに見える。しかし、実際には2年生以上の学生の学び方がよい方へ変化したという実感はほとんどない。さらに最近、激増している学習障害などを抱える学生にはこのような学習は向いていないで、不登校を助長するという問題もある。

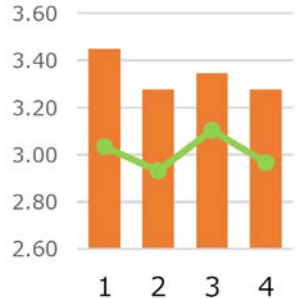
謝辞 大妻女子大学 本田周二先生に授業アンケートの解析をしていただきましたので、謝意を表します。

## 授業における他者観

他者観(仲間)



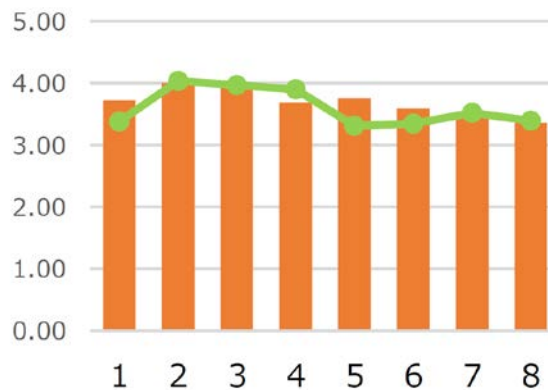
他者観(情報共有)



他者間(仲間)よりも他者間(情報共有)の4項目がプレアンケートよりポストアンケートで大きく上昇した。とくに「1:必要な情報を提供し合う関係である」の上昇が著しい。

では、どのような活動の結果だろうか？

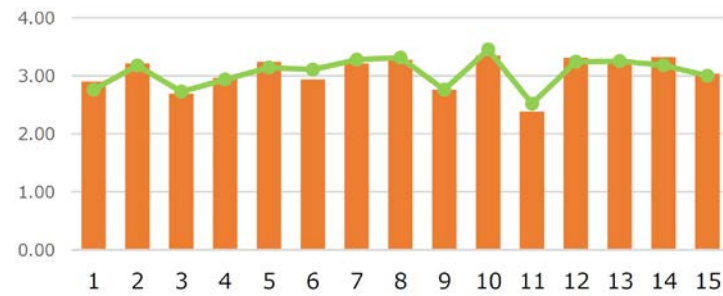
## 深い学習アプローチ



深い学習アプローチのうち、「2. 自分がすでに知っていることと結びつけて、授業内容の意味を理解しようとする」、「3. 私は、授業内容の意味を自分で理解しようとする」のスコアが高い。

では、どのような活動の結果だろうか？

## AL尺度



AL尺度のうち、「10. 議論や発表を通じて新しい物事の見方にと気づく」、「8. 議論や発表を通じて授業の内容に関する知識が増える」、「2. クラスメイトの考えが自分と異なることに気づく」のスコアが高い。

では、どのような活動の結果だろうか？

## 気にかかること

このアンケートの回答では双方向が前提になっているが、一方向だけの学びのフリーライダーはいないのか？は気にかかる。情報や知識を提供する意味を理解しているのだろうか？

予習で事前に学んでいるから、結びつけられるだけかもしれない。自分の力だけで知識を束ねて、つなげることができるだろうか？

いつもいつも学生の中から目新しい意見がでるとも限らないので、教師の側からアイデアを出すと、学生がそれに依存するようになるところがある。